地方行政サービス改革の取組状況等(平成31年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分	
082201	茨城県	つくば市	施行時特例市	

(2)指定管理者制度等の導入

福祉・保健センター

児童クラブ、学童館等

18 1 5.6% 児童の健全育成事業や子育で支援の交流事業は、地域に根差す重要な事業として 当初から直営で進めてきた経緯があるため。

			【参考】 類似団体	ARCTES.
	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	規模団体 委託率	全国(市区町 委託辛
本庁舎の清掃			100.0%	99.5
本庁舎の夜間警備			100.0%	98.6
案内•受付			100.0%	91.4
電話交換			92.6%	94.1
公用車運転			77.8%	87.6
し尿収集			96.2%	98.0
一般ごみ収集			100.0%	97.3
学校給食(調理)			85.2%	69.7
学校給食(運搬)			100.0%	90.7
学校用務員事務	0	今後も今まで同様、正職員と臨時職員で対応。	26.1%	35.6
水道メーター検針			100.0%	98.9
道路維持補修·清掃等			100.0%	97.1
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.0
在宅配食サービス			100.0%	99.9
級処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.6
トームページ作成・運営			100.0%	97.2
調査·集計			96.0%	96.2

類似団体 導入率 全国(市区町村分 導入率 公の 施設数 ^{制度導入} 施設数 ^{導入率} 前年度以降、導入が進んでいない理由 自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方 0 0.0% 平成28年度に指定管理者の選定を行ったが、議会において指定管理者の指定に関する議案が否決されたため、平成28年度においても導入を見送った。 競技場 (野球場、テニスコート等) 7 18.9% 指定管理者の選定を行ったが、議会において指定管理者の指定に関する議案が否決 47.6% 52.0% 2 1 50.0% 指定管理者の選定を行ったが、議会において指定管理者の指定に関する議案が否決されたため。 プール 66.3% 50.2% 海水浴場 13.6% 3 0 0.05 差朽化に伴う施設の改修工事を達め、指定管理者制度の導入を検討している。なお、 動年度で指定管理者契約が高了した1施設が含まれており、再度指定管理者制度の 導入を検討している。 宿泊休養施設 は大の課題を順次解消し、指定管理者制度の導入を検討しているところである。 73.9% 86.5% 80.8% 76.0% 6 0.0% 宿泊施設と一体の施設であり、宿泊施設等の改修工事を進め、指定管理者制度導入の必要を検討している。なお、前年度で指定管理者契約が両了した1施設が含まれており、再度指定管理者制度の場合を検討している。 キャンプ場等 その課題を順次解消し、指定管理者制度の導入を検討しているところである。 75.0% 58.1% 産業情報提供施設 0 0 展示場施設、見本市施設 0 50.0% 64.2% 開放型研究施設等 50.0% 52.0% 大規模公園 1 0 0.0% 指定管理者の選定を行ったが、議会において指定管理者の指定に関する議案が否決 42.6% 0 0.0% 管理事務の一部を民間に委託しているが、さらに指定管理制度へ移行することへの検討に時間を要するため。 27.6% 14.3% 公営住宅 0 0.0% 本駐車場は、観光用駐車場であり、駐車場収入を観光施設の維持管理費に充当して いることから、主要な財源であり、直営で運営すべき施設であると考えている。 駐車場 59.7% 38.0% 大規模霊園、斎場等 21.8% 利用に対して施設が不十分であり老朽化も進んでいるため、運営方法のみならず、全体の相条像について検討中であるため。 また、長期的に高い図書館サービスを推神するためには、直営が望ましいと考えているため、 在直営であるため、サービス提供のために常駐する必要がある。 19.4% 専門性の他に地域的な知識が必要であり、また史跡指定部分では厳しい現状変更の 0 0.0% 規制があるため活動に制限が生じ、市の十分な監視が必要なこと、入場料収入が無く 収立が上げにくいことをの動きがあるため。 博物館 27.8% 19.7% 当該施設(地域交流センター、市民ホール)は、老朽化による施設機能の劣化や修繕料の増加を 考慮すると、多大な運営コストが予想され、指定管理者による運営にはなじまないと考えられる。 公民館、市民会館 23 2 8.7% 指定管理者制度の導入を検討していない。 14.5% 23.0% 文化会館 2 100.0% 51.8% 合宿所、研修所等 0 0 53.5% 48.0% 特別養護老人ホーム 73.5% 0 0 0 100.0% 0 介護支援センター 100.0% 50.4% 導入も検討したが、利用料金を運営に充てる観点からは、収入が少ないため受託者 が存在するが懸念された。また、施設の老朽化が進んでおり、施設の維持管理の部 分の調整が必要であり、今後、長期的な施設のあり方なども検討する必要があり、導

老人福祉センターと福祉支援センターの複合施設になっており、施設管理が複雑であるため、自 治体職員の常駐での配置は適切と考える。

児童の健全育成に資する重要な施設であるため。

69.2%

39.2%

53.2%

23.0%









